

4 豊かに暮らす薩摩川内 ～ 薩摩川内をつくる～

(1) 基本目標

○持続可能な生活しやすい地域の形成

山、里、街、そして島と、市域が広く多様な暮らしが営まれている薩摩川内市において、自然環境や治安が良い、地域住民同士の関係が良いことなどから、生活しやすいという意見が多い一方で、甌島地域をはじめとした、市の中心部から離れた地域では、交通の便が悪い、買い物が不便などの問題点が指摘されており、また甌島地域では、健康や医療に関する施設やサービスが不足しているとの意見も少なくない。一方、市街地部分では、防災面での不安や、人が集まり賑わいのある拠点がないなどの意見が見られます。

こうした市内の各地域の抱える課題を解決するためには、地域住民の意見を収集し、各地域の実情把握を進め、都市のコンパクト化、利便性の高い交通ネットワークの形成や、地域での生活支援システムの構築などを推進していきます。また、地域における多様性のある暮らし方を実現するためには、地域に応じた医療・福祉サービスや防災体制等を、地域の実情に合わせて関係者が協力・連携して構築します。

数値目標	基準値	目標値 (H31)

(2) 施策の基本方向

1 地域力を活かした安全・安心な地域づくり

地区コミュニティ協議会をはじめとした、市内のそれぞれの地域で、これまでに地域の安全・安心、活性化等の目的に取り組んできた地域団体の活動や、地域で生活する子どもが、自分の住む地域の文化、資産等についての理解しつつ育っていく取組を推進します。

2 人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

最近、市内の各所で増加傾向にある空き家について、各地域等にとって有用な利活用に向けた支援を進めて行くとともに、空き家管理等に係る新たなビジネスの検討を行います。また、行政として、将来の人口展望をイメージし、人口の変動に対応した公共施設の見直し基準と作業スケジュールを設定し、推進します。

3 都市のコンパクト化の促進

人口減少の進んでいく中、既存の都市機能等が集積している地域で、市民が安全かつ快適な生活しやすい環境を作っていくとともに、都市施設の効率的配置や事業所等の立地誘導を図ります。また中心市街地における賑わい創出に向けて、商業やコンベンション機能等を配置するとともに、環境・エネルギー技術を活用した都市環境づくり等を推進します。

4 小さな拠点（多世代交流・多機能型）の形成

人口維持が難しく集落機能を維持することが困難な地域において、住民や事業所等が連携し、ICT等の利活用を進め、市民が安心して生活できる環境を形成していくとともに、生活に必要なサービス維持等に向けた方策を進めます。

(3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

■施策①地域力を活かした安全・安心な地域づくり

数値目標	基準値	KPI (重要業績評価指標 H31)

(1) 地域力強化・維持	
地区コミュニティ協議会等が行う地域活性化、地域の魅力向上等に向けた取組みや活動を支援します。	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ○地区コミュニティ協議会運営の支援 ○コミュニティのビジネス活性化支援 ○市民活動活性化の支援 	コミュニティ課
(2) 安全・安心な地域づくり	
本市の治安の良さを維持していくとともに、地域防災機能の強化に向けて、地域の安全・安心に向けた取組みを支援します。	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ○地域防災・防犯体制の維持・強化 ○青色灯自主防犯活動への支援 ○消防団活性化の推進・強化 	防災安全課 警防課
(3) 地域づくりを支えるふるさと教育	
まちや地域の未来を担う子どもたちの地域意識や愛着等の向上を目的に、各種教育や学びの仕組みを推進し、地域づくりを活性化します。	
内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育の推進 ○コミュニティ・スクール導入等の促進 ○文化財等保存・継承・活用の推進 	学校教育課 文化課

◇短期・中長期の工程表

	27年度	28年度以降
取組内容		

■施策②人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

数値目標	基準値	KPI（重要業績評価指標 H31）

（１）空き家の利活用の推進

人口減少により各地で増加する空き家の利活用や空き家を管理する新たなビジネス創造を支援します。また、金融機関との連携による空き家対策改修工事等の後押しを促進します。

内容	担当
○空き家利活用対策（空き家改修支援）の支援 ○空き家管理有料ビジネスの検討	企画政策課

（２）公共施設の再編

将来の人口展望をイメージし、人口の変動に対応した公共施設の見直しを進めます。

内容	担当
○公共施設等の最適化（再配置）の推進 ○地域提案型資源活用ビジネス（「雇用」再掲）の支援	財産活用推進課 コミュニティ課

◇短期・中長期の工程表

	27年度	28年度以降
取組内容		

■施策③都市のコンパクト化の促進

数値目標	基準値	KPI（重要業績評価指標 H31）

（１）コンパクト化の推進と地域ネットワークの形成

人口減少を踏まえた新たな街の姿を描くとともに、効率的で利便性の高い公共交通ネットワーク、街なかでの快適な住まい方を促進します。

内容	担当
○都市計画マスタープランの改定 ○街なか定住の促進 ○交通機関が連携した公共交通ネットワークの再構築	都市計画課 交通貿易課

（２）賑わいある街なか拠点の形成

年々賑わいが失われてきている街なかで、市民からの要望も大きい拠点機能を充実・強化していくとともに、コンベンション施設の整備やスマートタウン等魅力あるまちづくりを推進します。

内容	担当
○街なか拠点機能の充実・強化（コアの形成） ○民間プロジェクトの誘導（スマートタウンの整備）、建ぺい率及び容積率見直し ○環境・エネルギー施策による支援 ○街なか情報発信等の充実	企画政策課 都市計画課 新エネルギー対策課 商工政策課

(3) 空き店舗等を活用した新たな都市機能の充実

中心市街地の空き店舗等を活用した創業支援や地域生活者等のニーズにマッチした利活用に向けた取組みを促進します。

内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジショップによる創業支援 ○テナントミックスによる新店舗開設支援 ○まちなか駐車場再編・整備 ○民間事業者開発支援 	<ul style="list-style-type: none"> 商工政策課 都市計画課 財産活用推進課

◇短期・中長期の工程表

	27年度	28年度以降
取組内容		

■施策④小さな拠点（多世代交流・多機能型）の形成

数値目標	基準値	KPI（重要業績評価指標 H31）

(1) 「小さな拠点」の形成（集落生活圏の形成）

市内の各集落で、住民が集まりやすいところを中心に各種機能を集約させて行くとともに、生活に不可欠なサービスが行き届く仕組み等を形成し、安心できる生活圏づくりを進めます。

内容	担当
<ul style="list-style-type: none"> ○地域生活支援システムの構築（買い物支援、防災サポート等） ○デマンド交通導入による周辺との交通ネットワーク強化 ○がんばる地域商店街への支援 ○地域情報化推進（地域ICT） ○観光地域づくり推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> 交通貿易課 商工政策課 情報政策課 観光・シティセールス課

◇短期・中長期の工程表

	27年度	28年度以降
取組内容		